

新東名高速道路

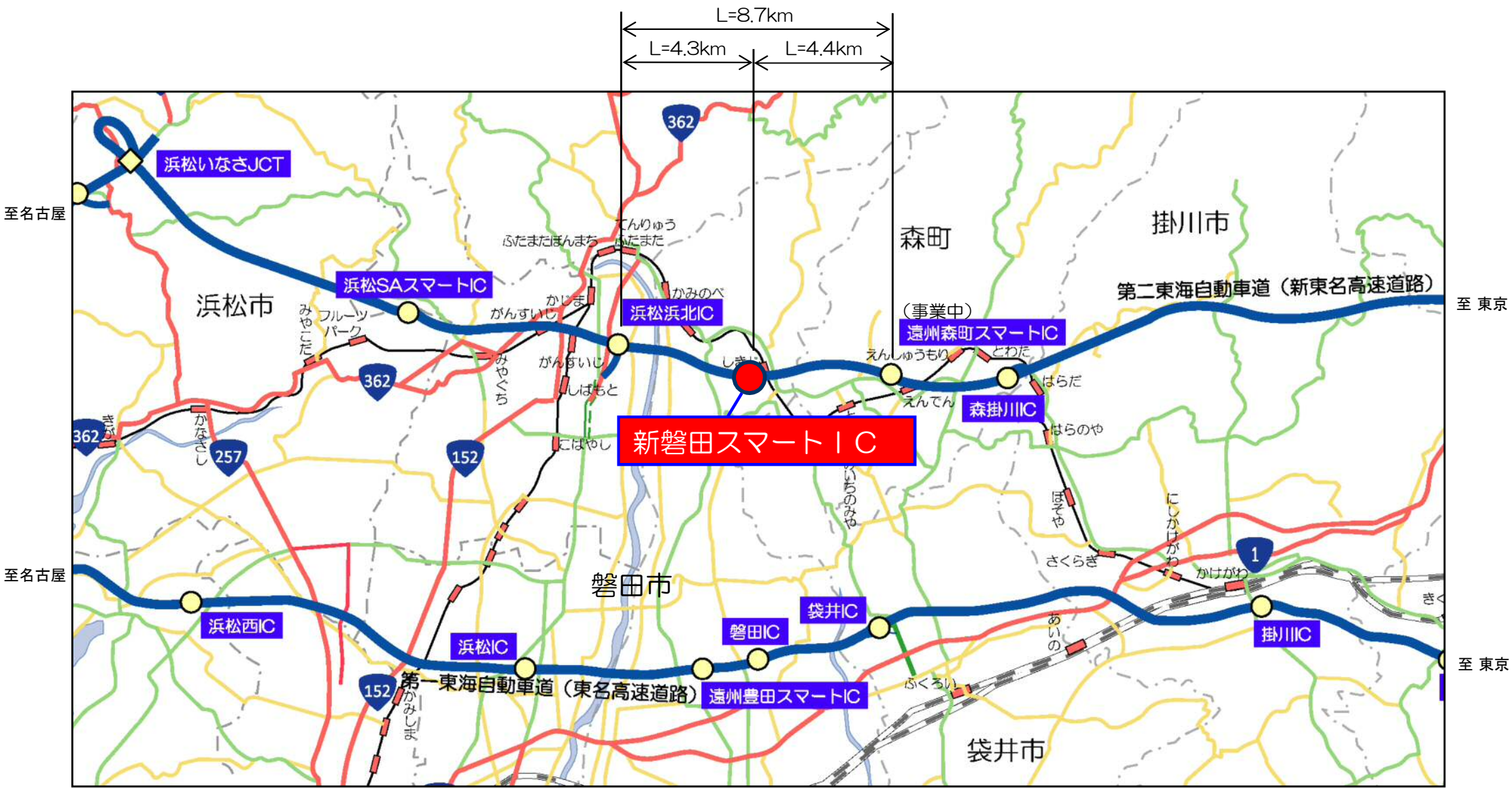
新磐田スマートIC**変更**実施計画書

平成29年 2月

静岡県 磐田市

1. 路線名

[路線名] 第二東海自動車道横浜名古屋線(新東名高速道路)

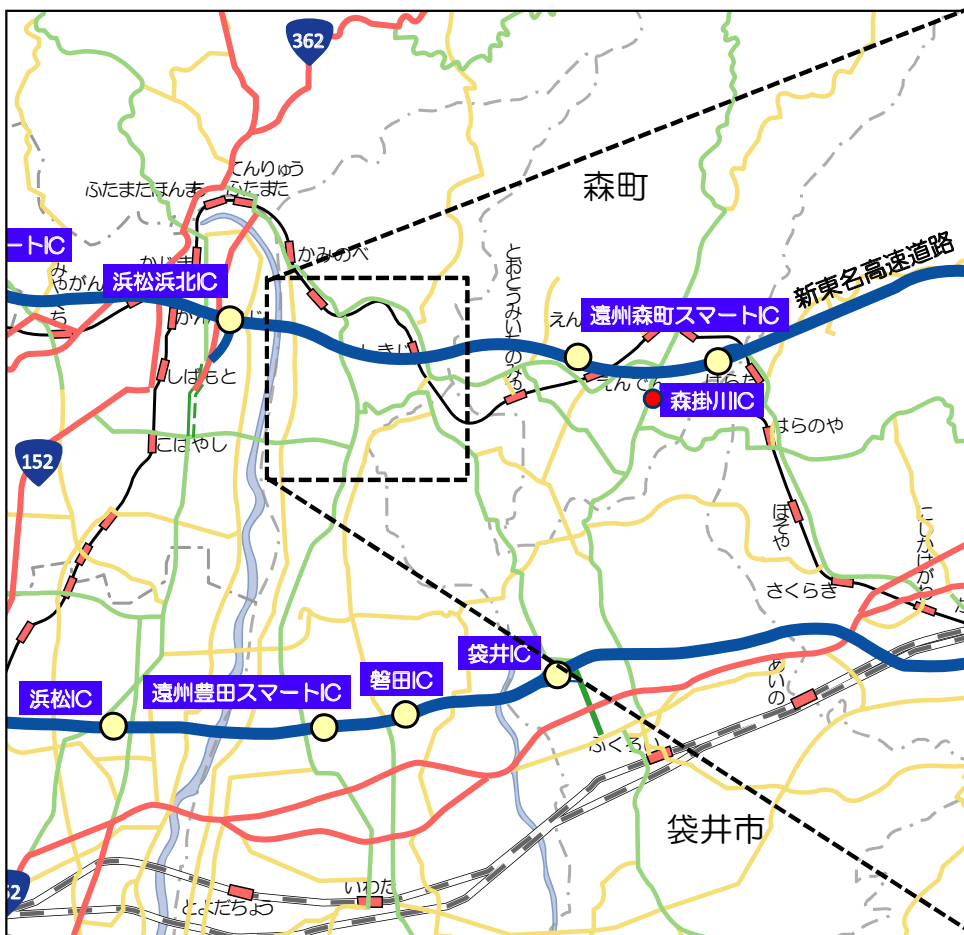


2. 連結位置及び連結予定施設

〔連結位置〕 静岡県磐田市 敷地 地内

〔連結予定施設〕 市道 下野部敷地線

広域図

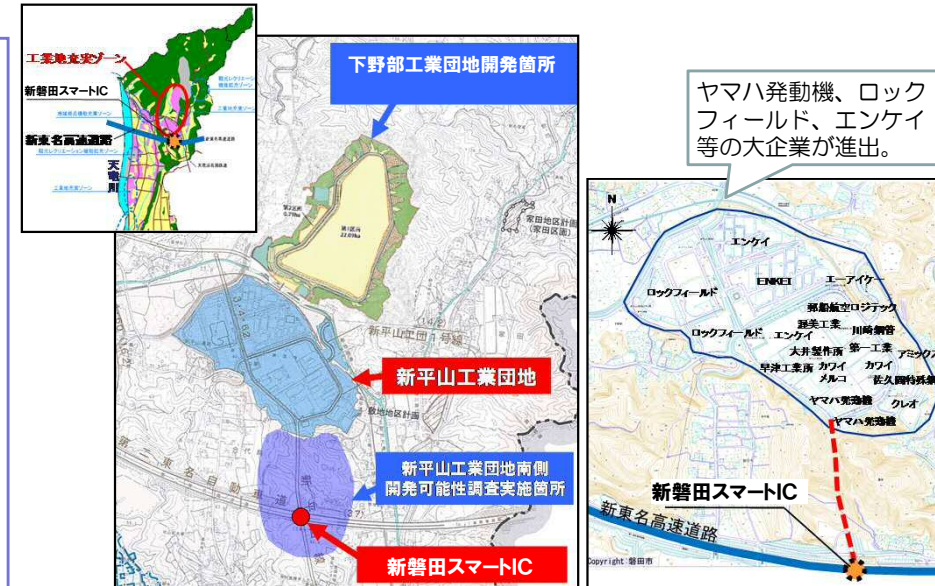


新磐田スマートIC周辺拡大図



3. 連結を必要とする理由

- 将来の土地利用構想では、市北部を工業地充実ゾーン（新平山工業団地の拡張、下野部工業団地の開発）として更なる産業集積を推進する計画である。
- 磐田市北部は、災害時の活動拠点が充実しており、ライフラインとなる高速道路からのアクセス向上など、大規模災害への備えが求められる。
- 磐田市北部の豊岡地区から救急医療施設まで10分以上の所要時間を要しており、豊岡地区においても救急病院までの搬送時間の一層の短縮が求められる。



<磐田市北部の工業地充実ゾーン>

<新平山工業団地>

こうした背景から、新磐田スマートICの設置により、主に産業集積の推進、大規模災害への備え、救急医療サービスの向上などの効果が期待できる。

【新磐田スマートICの設置により期待される効果】

- 工業地充実ゾーンに集積した企業のリードタイムを短縮し、生産性が向上
- 工業用地の魅力が高まり、今後の企業集積の促進や雇用の創出
- 災害活動拠点への時間短縮、リダンダンシー確保
- 搬送時間短縮による地域医療サービスの向上

4. 計画交通量、供用予定時期

(1) 計画交通量

新磐田スマートIC計画交通量(平成42年): **1,500**(台/日)

〔推計条件〕

- ・ ODデータ : 平成17年度道路交通センサス将来OD (H42)
- ・ 配分手法 : 高速転換率併用配分手法
- ・ ETC利用率 : 90%

(2) 供用予定時期

供用予定時期 : 平成32年9月30日を目標とする

●運用形態

フルインター形式

●利用方法

I N :東京方面上り線、名古屋方面下り線

OUT :東京方面上り線、名古屋方面下り線

●運用時間

24時間

●対応車種

ETC車載器を搭載した下記の車種

(軽自動車等、普通車、中型車、大型車、特大車)

*通行可能対象車長:L=16.5m以下

※当該ICの供用後も継続して、その社会便益、安全性、採算性、管理・運営形態について、定期的にフォローアップし、必要に応じ見直す。

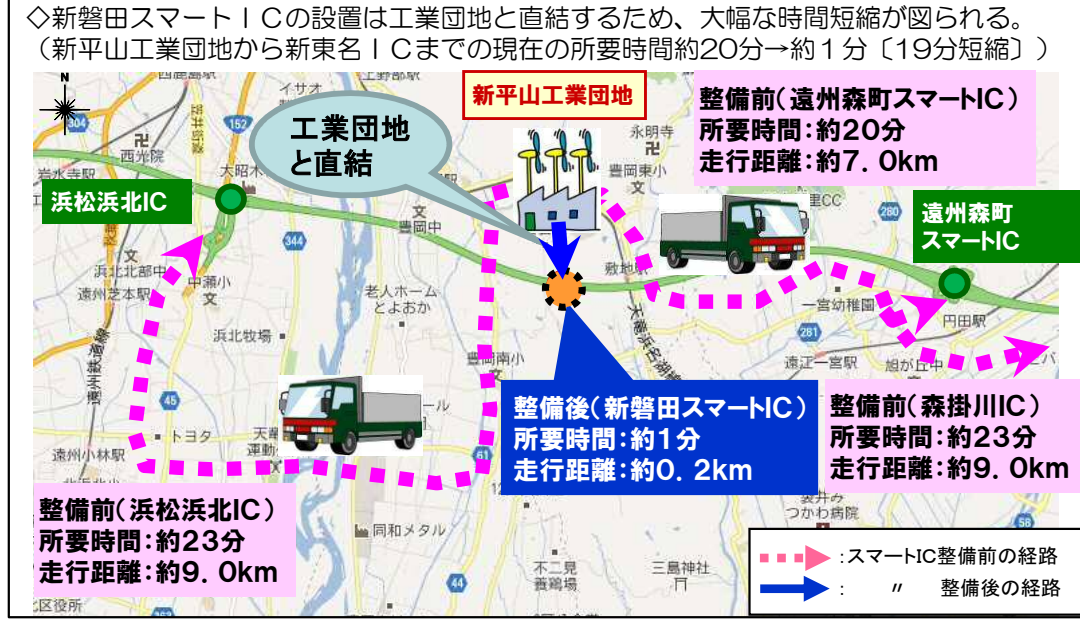
6. 当該ICの設置により期待される整備効果

1. 工業団地直結による企業集積の促進及び雇用創出

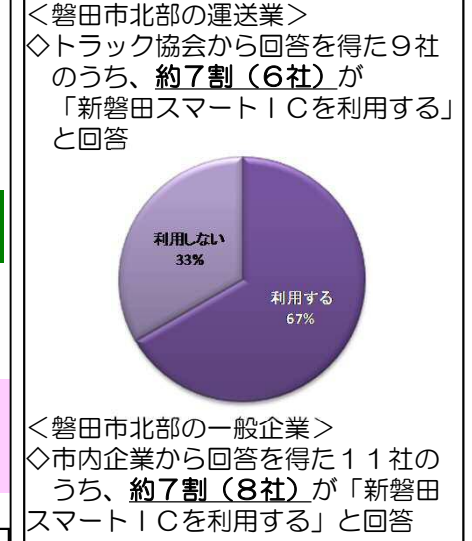
- 新磐田スマートICと新平山工業団地及び造成中の下野部工業団地との直結により、工場のリードタイムの短縮による生産性向上等の活性化が図られる。
- 新磐田スマートIC設置により工業用地の魅力が高まり、今後の企業集積の促進や雇用創出が期待される。



<時間短縮効果>



<運送業及び一般企業の利用意向>



<新平山工業団地企業一覧>

会社名	資本金(百万円)	従業員数(人)	主要生産品目
ヤマハ発動機	48,342	9,396	モーターサイクル、スクーター、船舶等
㈱ロックフィールド	5,544	1,396	そうざいの製造、販売
エンケイ㈱	113	189	二輪・四輪用アルミホイール、二輪・四輪・船外機用アルミ合金鋳物
㈱エンケイホイールコーポレーション	200	342	二輪・四輪用アルミホイールの製造
エンケイペインティング㈱	50	31	二輪・四輪用アルミホイールの塗装
㈱エンケイファウンドリィコーポレーション	50	46	各種アルミエンジン部品の製造
㈱エンケイ・テストアンドラボラトリー	90	10	アルミニウム製品の品質保証および性能試験全般
㈱エンケイメタルズ	50	17	アルミニウム原材料の製造・販売
第一工業㈱	200	550	自動車部品、ネジ、学校家具
源美工業株	45	260	自動車部品
佐久間特殊鋼㈱	60	115	特殊鋼販売
㈱クレス	83	97	印刷物の製造、物流業務
郵船航空ロジック㈱	20	89	倉庫・保管・梱包
㈱メルコ	350	87	各種金型の設計・製作及び販売
川崎鋼管㈱	180	74	小径肉厚電線鋼管製造
南大井製作所	5	62	二輪・四輪部品の金属プレス加工
㈱アマックス	10	25	溶接金剛製造
㈱カワイ	10	20	木材・建材・サッシ
㈱イー・アイ・ケー	50	10	輸送用機械部品
南早津工業所	5		自動車部品
計		12,816	

<新磐田スマートICに対する期待の声>

◇新東名高速道路の利用は、東京方面で森掛川IC、名古屋方面で浜松浜北ICを利用しており、会社からの所要時間はどちらも20分～30分である。近傍にスマートICができれば、輸送時間の短縮だけでなく、工場側の生産ラインにも余裕が生まれ、一層の品質向上に努められるなどメリットがある。ぜひ、つくっていただきたい。

(新平山工業団地内の食品加工会社)

◇高速ICが近くに設置されれば、材料の搬入や製造品の出荷などにおいて利用する。今後、新しい工業団地が出来ることで、森掛川ICや浜松浜北ICにアクセスするトラックで道路が混雑するのではないかと考える。そのためにも、新磐田スマートICを早く設置したほうが良いと考える。

(新平山工業団地内の鉄鋼製品生産業)

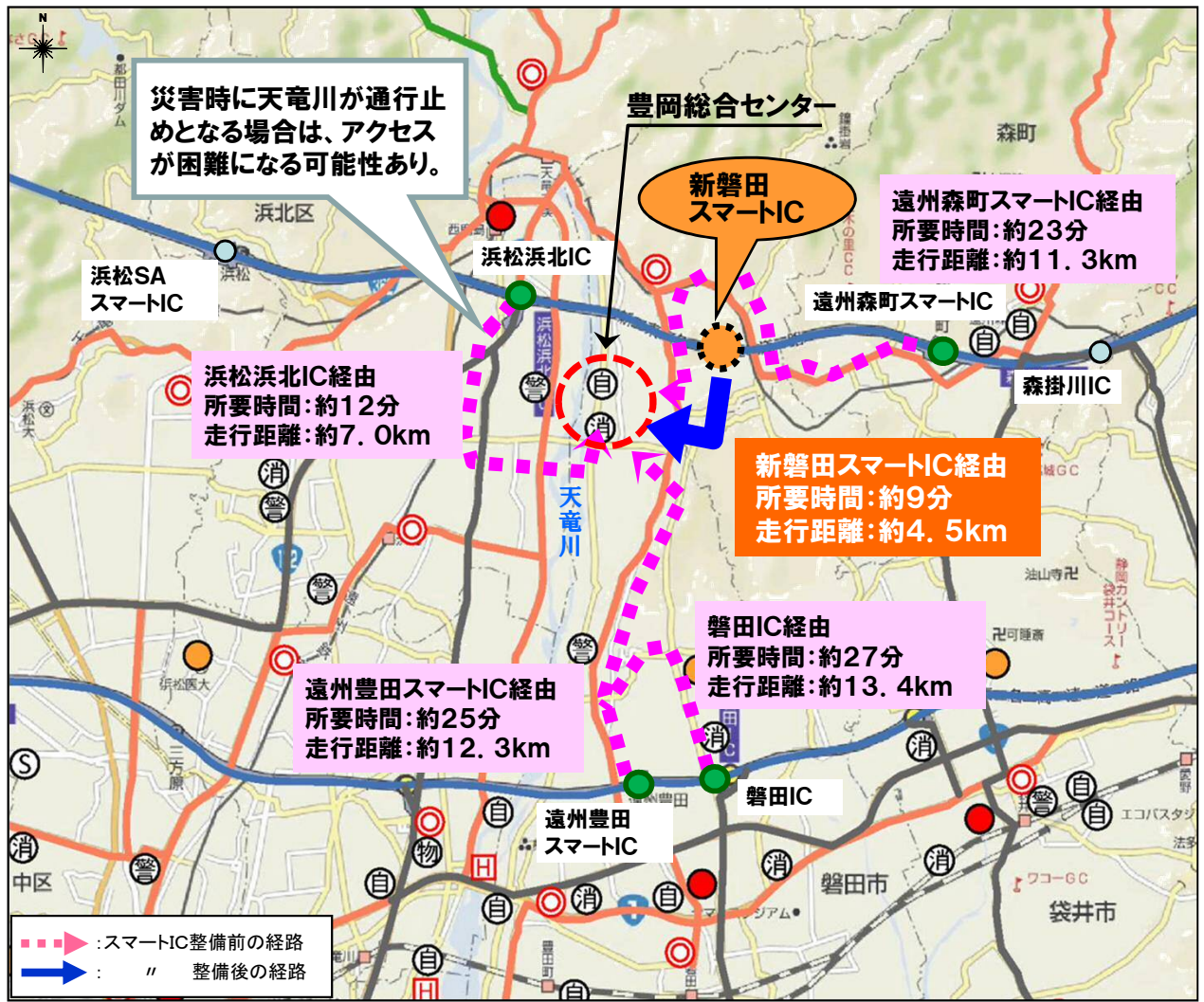


6. 当該ICの設置により期待される整備効果

2. 災害活動拠点への時間短縮、リダンダンシーの確保

●新磐田スマートICは、災害時のライフラインである高速道路から災害活動拠点までのアクセス時間の短縮やリダンダンシーを強化し、迅速な救援・救助活動や復旧・復興活動への貢献が期待される。

<大規模地震発生時における静岡県緊急輸送路図>



◇災害時活動拠点までのアクセスは、新東名高速道路の浜松浜北IC経由、遠州森町スマートIC経由、東名高速道路の磐田IC経由、遠州豊田スマートIC経由に加え、最も近い新磐田スマートIC経由が追加され、**時間短縮**が図られる。

◇アクセス経路の増加は、リダンダンシーを強化することとなり、ライフラインである高速道路との**アクセスの確実性**が増強される。

※所要時間の計算に用いた速度は、災害時に緊急輸送路を一定速度で走行できるものとして一律30km/hとした。
 ※リダンダンシー：震災などで、道路や橋が機能不全に陥った場合、生活や産業活動に大きな支障が生じないように、あらかじめ代替手段を確保すること。

凡例	
—	1次緊急輸送路
— (赤)	1次緊急輸送路(高規格道路)
— (青)	2次緊急輸送路
— (緑)	3次緊急輸送路
◎ (白)	自衛隊活動拠点
◎ (赤)	警察活動拠点
◎ (青)	消防活動拠点
◎ (黄)	災害拠点病院
◎ (赤)	防災拠点ヘリポート
◎ (青)	SCU(広域医療搬送拠点)
◎ (白)	広域物資拠点
◎ (白)	防災拠点港
◎ (白)	防災拠点湾
● (赤)	県庁・出発機関
◎ (赤)	市長役場・支所

・磐田市豊岡総合センター(面積4,557㎡)民俗資料館や体育館、野球場などのスポーツ設備が充実しており、静岡県国民保護計画避難施設として指定されている。



・防災訓練の様子



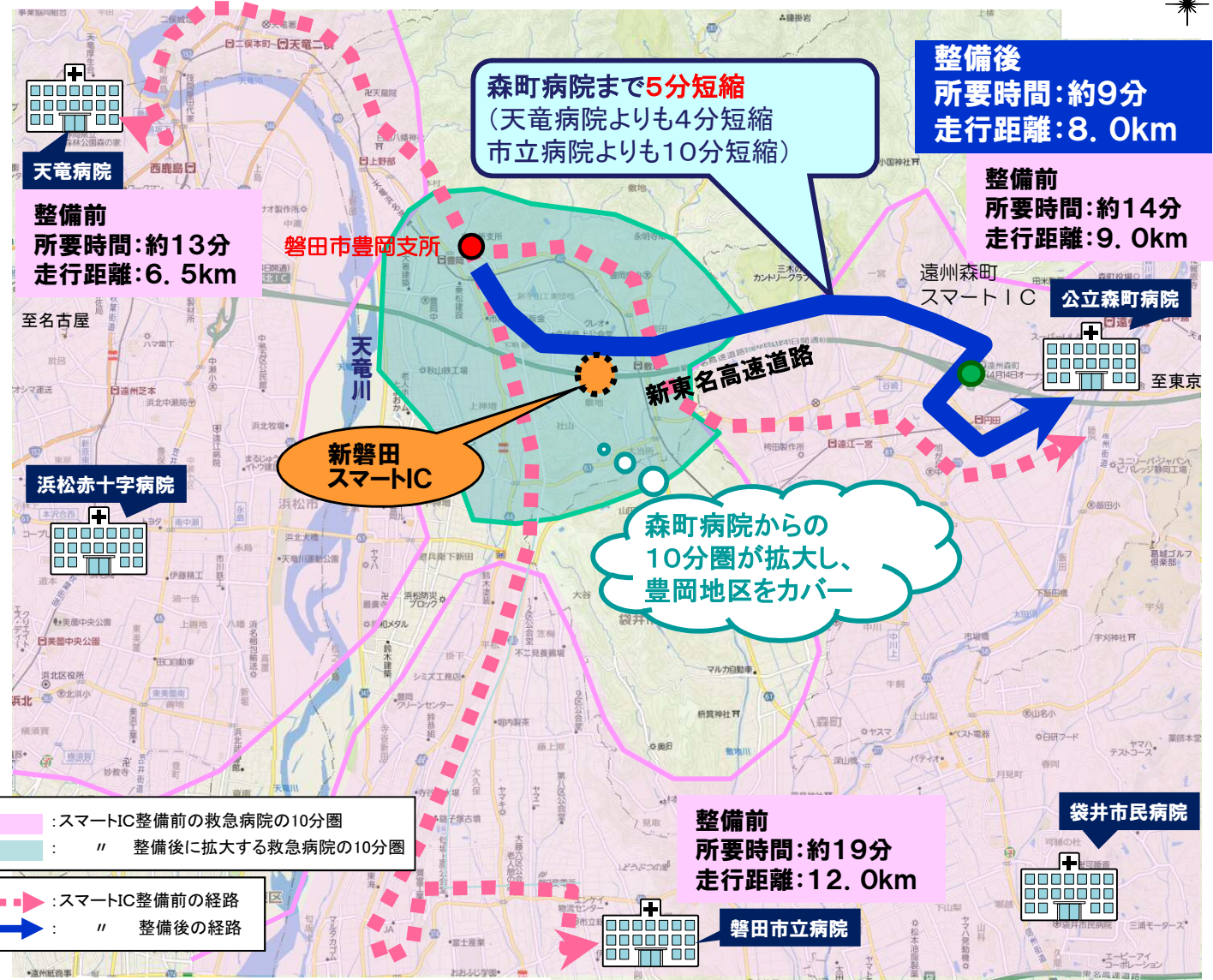
参照:静岡県緊急輸送路図

6. 当該ICの設置により期待される整備効果

3. 搬送時間短縮による地域医療サービスの向上

●新磐田スマートICは、救急病院までの所要時間を短縮し、生存率の向上が期待される。

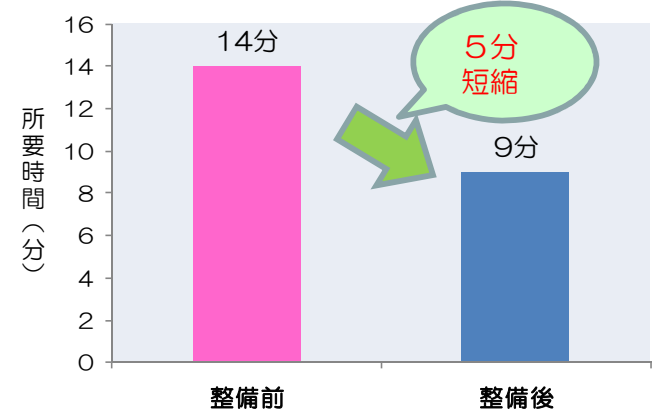
＜磐田市豊岡支所から救急病院までの搬送時間・救急病院10分圏＞



※H22道路交通センサス旅行速度より算出

＜森町病院までの搬送時間短縮効果＞

磐田市豊岡支所より森町病院までの搬送時間を新磐田スマートIC整備前後で比較した結果、5分の短縮効果が発現

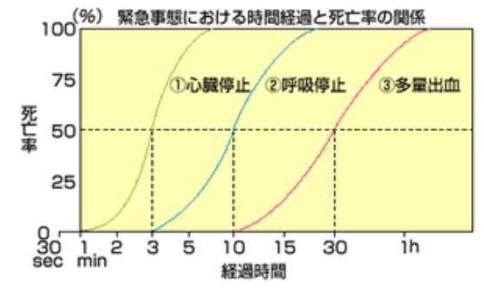


＜搬送時間短縮による生存率の増加＞

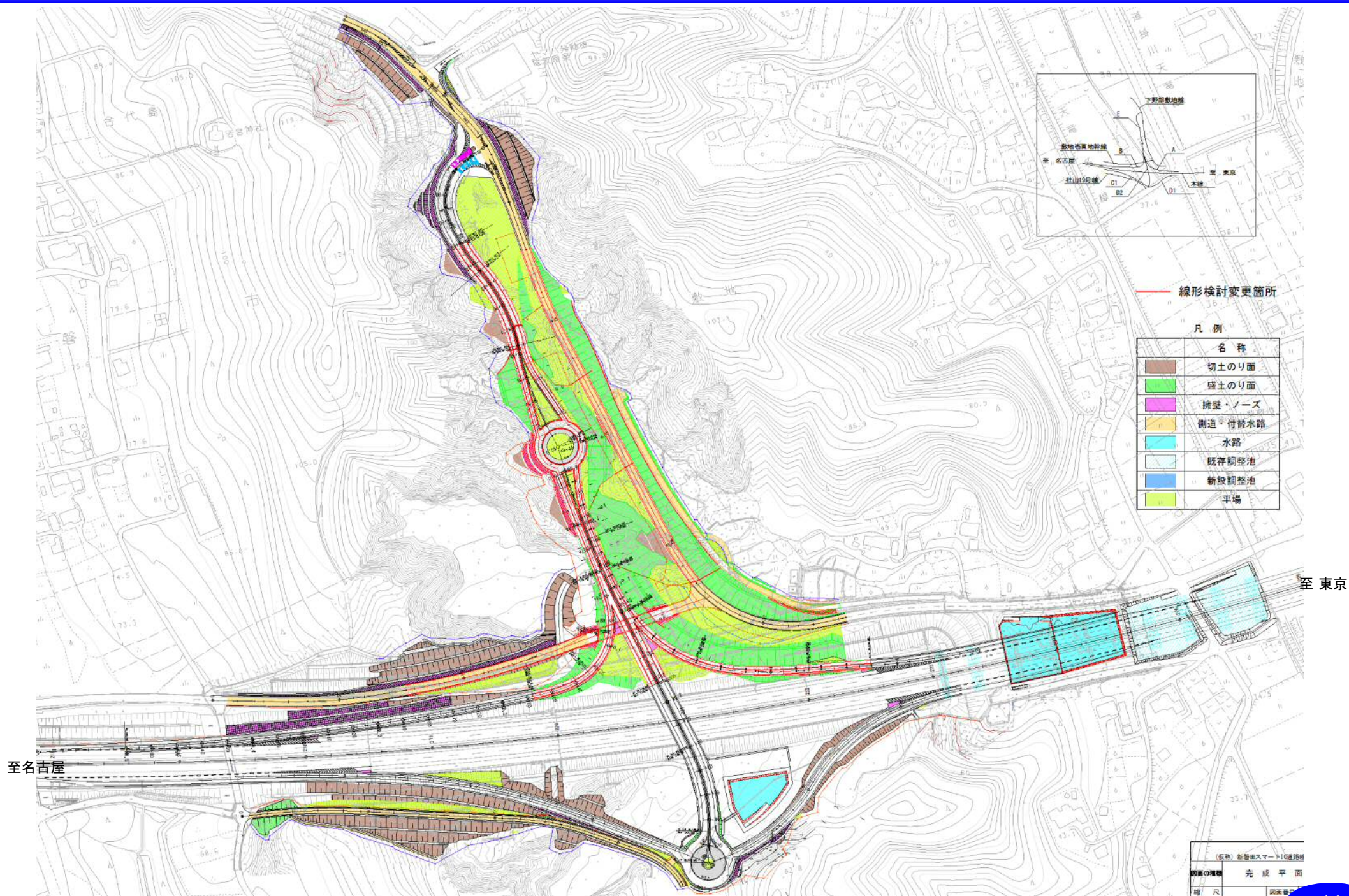
◇カーラーの救命曲線に代表されるように、重篤患者への救命措置開始時間が早ければ早いほど、生存率は向上する傾向にある。

◇搬送時間の短縮により、病院での適切な処置開始時間が短縮されることで、重篤患者の生存率向上が期待される。

＜カーラーの救命曲線＞



7. 完成形 概略図面(計画平面図 平面Y型IC ラウンドアバウト型料金収集設備)



線形検討変更箇所

凡例

名称	凡例
切土のり面	[Brown box]
盛土のり面	[Green box]
擁壁・ノーズ	[Purple box]
側道・付替水路	[Yellow box]
水路	[Cyan box]
既存調整池	[Light Blue box]
新設調整池	[Dark Blue box]
平地	[Light Green box]

至東京

至名古屋

(名称) 新豊田スマートIC道路橋
 計画の概観 完成平面
 縮尺

7. 暫定形 概略図面(計画平面図 平面Y型IC ラウンドアバウト型料金収集設備)

